

# 児童委員・主任児童委員活動事例② 「サンサン広場（外国人家庭のサロン）」（福井県勝山市）

## ■ 福井県勝山市の主要データ

基礎データ (平成31年1月現在)	人口:23,318人 世帯数:7,978世帯 学校数:公立小学校9校、公立中学校3校
児童委員・主任 児童委員の数	児童委員:定数78人／委嘱者数78人 主任児童委員:定数8人／委嘱者数8人



## ■ 取組（活動）概要

太陽のように暖かく輝くように「サンサン広場」という名称で外国人家庭のためのサロンを開催している。当市及び日本の文化を学び、風習に馴染むため、外国人同士の交流会や子育てに関する相談などを行っている。学期ごとに年3回開催。

### 【主な活動内容】

おひな祭り、七夕まつり、クリスマス会、遠足、陶芸、お餅つき大会、和菓子作り、当市の施設巡り、近隣市町村の施設巡り、行政書士による悩み相談 など

## ■ 取組(活動)の主催団体

勝山市主任児童委員会

## ■ 主な実施場所

勝山市内及び勝山市健康福祉センターすこやか

## ■ 連携・協力機関等

勝山市役所(福祉・児童課、健康長寿課、市民・環境課、教育委員会)、行政書士、私立保育園・こども園、市内公立中学の学生、勝山市社会福祉協議会 勝山市民生・児童委員協議会

## ■ 児童委員・主任児童委員の役割、関わり

主任児童委員が、企画から運営までを全員で実行している。外国人同士の仲間づくり、悩みの相談、行事参加への呼びかけ(市の広報誌への掲載)を行う。児童委員に行事の補助や参加を呼びかけることもある。

## ■ 取組（活動）のきっかけ、経緯

結婚して当市に住むことになった外国人の家庭が、どんな外国人がどこに住んでいるのかわからないこと。言葉が通じないので友達ができにくく、相談することもできないこと。ゴミの出し方がわからず、住民から苦情があったことなど、市内の産婦人科医から聞いたことがきっかけとなった。

## ■ 取組（活動）のポイント、留意点

春季には当市の左義長祭りを体験したり、ひな祭りに和菓子を作りお抹茶を嗜んだり、日本古来の琴の音を鑑賞できるようにしている。夏季には七夕飾りをし、夏祭りの風情を楽しみ、冬季は、クリスマスツリーを飾り、ケーキを作ったり、正月用のお餅つきを行っている。

## ■ 取組（活動）による効果

人種の違う外国人同士の交流ができ、同じ国の出身者がいることもわかり、連絡先を交換する姿も見られた。外国人の子どもたち同士で友達付き合いができるようになってきている。文化的な面、地域の生活習慣にも少しずつ馴染み、コミュニケーションがとれるようになってきている。主任児童委員とも親交が深まり、声を掛け合うようになってきた。

## ■ 今後の展望・課題

この取組はある程度は定着しているものの、最近では外国人家庭が少しずつ減り、行事もマンネリ傾向にある。対象が小学生3年生までの子どもがいる家庭としていることから、小学生対象者を6年生までにするか検討が必要となっている。これから、地域の方々の協力を得ながら、魅力ある行事を取り入れていくことが課題である。